

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 MR bone imaging による頸動脈病変の形態学的評価と臨床背景の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 脳神経外科 職位・氏名 講師・林 盛人

【試料・情報の利用目的】

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科では、頸動脈狭窄症（けいどうみやくきょうさくしょう）疑いにて MRBI¹⁾を用いた頸動脈 MRI 検査²⁾および頸動脈 CTA 検査³⁾、脳血管撮影、頸動脈超音波のいずれかを受けられた患者さんを対象とし、MRBI を用いた頸動脈病変の形態評価の妥当性を検証することを目的とした研究を計画しました。患者さんの診療録（カルテ）より取得した情報を本研究に利用します。

この研究で得られる成果は、頸動脈病変をもつ患者さんの検査負担の軽減及び、CTA による放射線や造影剤の負担を軽減することが可能となり、より良い治療方針のご提案につながります。

- 1) MRBI (Magnetic Resonance Bone Imaging): MRI 検査における撮像法の 1 種です。
- 2) 頸動脈 MRI 検査: 磁気共鳴血管造影検査。MRI 装置を使用して頭頸部の血管に異常があるかどうかを調べる検査です。造影剤を使用せずに血管だけを描出できるため、体に痛みを与えない方法です。X 線は使用しないため被ばくリスクもありません。
- 3) CTA (Computed Tomography Angiography)検査: 造影剤（ぞうえいざい）を用いて血管を明瞭に描出し、3D 画像によるより正確な診断が可能となる検査です。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 患者背景（年齢、性別、既往歴、内服薬）、頸動脈 MRI 画像、頸動脈 CTA 画像、頸動脈超音波画像 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2025 年 9 月より利用を開始します。

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2024 年 7 月～2026 年 12 月まで東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科において、頸動脈狭窄症および疑いに対して MRBI による頸動脈 MRI および頸動脈 CTA 検査、脳血管撮影、頸動脈超音波のいずれかを受けた、あるいは今後受ける方およそ100名。

方 法：診療録(カルテ)から抽出したデータを解析し、MRBIの頸動脈病変の形態評価に用いることの妥当性を検討します。

【研究組織】

代表施設名：東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者：林 盛人 役職：講師

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科 講師 林 盛人

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、2027 年 2 月 28 日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は利用しません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。また、患者さんご本人はもちろん、ご家族等、代諾者の方からのお問い合わせもお受けいたします。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科
職位・氏名 講師・林 盛人
電話 03-3468-1251 内線 7434